

特別活動 授業デザイン

日	時：平成24年12月7日（金）第3校時（10時40分～11時25分）
学	年：小学部2～6年
授 業 場 所	：会議室

1. 題材名

収穫祭の招待状を作ろう

2. 単元（題材）の目標

- （1）グループ全員のアイデアを取り入れた招待状になるように、仲間と協力して進んで活動しようとする。
- （2）自分たちの発想を生かしそれぞれの表現をして、招待状作りをする。

3. 単元（題材）の指導計画

指導計画（全3時間）

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
第1時	招待状づくりのグループ分けを行い、作業手順の確認や計画、分担を行う。	IWB, TPC, リモートカメラ
第2時	グループで協力し合いながら、それぞれの発想を生かして招待状を作り、全員で鑑賞する。（本時2／3）	IWB, TPC, リモートカメラ
第3時	招待状を仕上げて、先生方へ届ける。	IWB, TPC

4. 本時の目標

- （1）グループ全員のアイデアを取り入れた招待状になるように、協力し合って活動する。
- （2）自分や他の児童の発想を生かして、招待状作りをする。

5. 本時の情報通信技術（ICT）活用

活用する場面	・導入 ・展開 ・まとめ
活用する者〔目的〕	・児童・生徒〔・個別学習 ・協働学習 〕 ・指導者 〔・コンテンツ提示, 資料提示 〕
活用するコンテンツ	・自作コンテンツ 学習支援システム 画像編集ソフト
活用する機器	・IWB ・TPC ・リモートカメラ

6. 本時の展開

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICT による支援】
導 入	一斉学習 ①児童会役員の2人が本時の活動内容や注意事項を発表し、全員で確認する。 ②TPCや学習支援システムの使い方についての指導者（T1）からの説明を聞く。	IWB（指導者・児童） TPC（児童）	・子ども同士が協力して活動できるように、指導者への質問は最低限にすることを確認する。
展 開	協働学習 ③各グループで、TPCの学習支援システムや画像編集ソフトを使用して招待状をつくる。	IWB（指導者） TPC（児童）	【リモートカメラやテレビ会議システムを使い、別教室で学習している児童も活動に参加できるようにする。】 【TPCのトラブルや、基本操作に不慣れな児童についてはT2を中心に適宜支援する。】
	一斉学習→協働学習 ④それぞれの途中経過を全員で確認し、使っているアイデアやイラストの交流をする。 ⑤交流した発想を生かして、各グループに分かれて招待状作りをする。	IWB（指導者） TPC（児童）	【学習支援システムを使い、全員の作業の様子がリアルタイムに一つの画面で確認できるようにする。】
ま と め	協働学習 ⑥それぞれが作った招待状を全員で鑑賞する。 ⑦自分が工夫したところや他の児童の良いところを、学習支援システムに記入し交流し合う。	IWB（指導者） TPC（生徒）	・自分の発想ができにくい児童には、他の児童の作品の良いところを参考にしよう支援する。 【学習支援システムを使い、感想を全員で共有できるようにする。】

7. 本時の評価（評価の観点・観点別の評価を含む）

- (1) グループ内で声を掛け合いながら、ルールを守って招待状作りをしているか。
- (2) 自分なりの発想や他の児童のアイデアを生かした招待状になっているか。

8. 準備物

IWB, TPC, リモートカメラ, デジタル資料（自作コンテンツ）